

第3回 定例会

区政をただす

一般質問

補正予算の編成方針を

明確にせよ

自由民主党議員団 市川 みのる



今後、保育需要が急激に増加すると見込まれる中、緊急待機児対策が補正予算に盛り込まれたことは高く評価するが、生活道路拡幅整備事業など、他にも緊急的な課題があったのではないかと、どのような方針で補正予算を編成したのか。

区長 補正予算の編成にあたっては、法改正や制度変更、緊急課題への対応

ベテラン職員が大量に退職する時代を迎え、若手職員などに知識、経験が形成、継承されておらず、自信を

緊急医療情報キットで

高齢者の安心・安全を守れ

公明党議員団 やながわ 妙子



百歳以上の高齢者の所在不明が問題化する中、区でも取り組みはしてきたが、機能しなかった現実がある。冷蔵庫にシールを貼って使う緊急医療情報キットは、目につきやすく、情報更新も容易であり、民生委員等が高齢者に対面してこのキットを手渡すことで安否確認と見守りが可能となる。

「ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV-1)」は潜在

もって仕事を進められなくなっているのではないかと、

区長 職員が培ってきた知識や経験を若い職員に引き継ぐことを組織的に引き、各職場における若手職員育成に力を注いでいきたい。

拙速で無謀な目標体系見直しはやめよ

目標体系の見直しを行うとのことだが、①その意図狙いは何か。②短期間での見直し作業の結果を23年度の予算や組織に反映するとしたら、あまりにも拙速で

無謀ではないか。

区長 ①中長期の財政見直しを踏まえ、次の時代につけを残さない財政規模とし、必要な事業を着実に進めていくためである。②

これまで経験、経過によって培われた区の経営行動に基づき作業を行うものであり、見込んだ期間で十分実現すると思える。なお、期間を必要とする見直し項目については、次年度以降の反映を視野に継続的な検討を行っていく。

サンプラザ地区に総合アリーナ施設を

国際的なスポーツ大会の開催が可能な、スポーツ・コンベンションセンター機能を持つ施設を設けること

で、国内外からの集客が期待でき、中野のまちの活性化につながるのではないかと、

区長 サンプラザ地区に国際的な集客の核となるにぎわいの機能を持たせることが重要であると認識しているが、どのような機能を導入するかは事業採算性などとあわせ、多面的に検討していきたい。

区民生活優先の

区政に転換せよ

日本共産党議員団 来住 和行



田中区政は、これまでもサンプラザや中野・東中野駅周辺などの開発に、157億円の区税をつぎ込んできた。09年度も7億7千万円の不要不急の開発関連の支出が行われた。区民は開発より暮らしのための支出を求めている。①大規模開発優先の区政は立ち止まり、暮らしや福祉などを優先する区政に転換すべきではないか。②都は「子宮頸がんの予防ワクチン接種」の公費助成に対し、財政支援を始めた。国も来年度の予算要求に事業助成費を盛り込んだ。区も助成制度の早期実現を図るべきではないか。

区長 ①補正予算では、区民の暮らしと福祉、子育て、教育などの制度改正や緊急的に対応すべき事項に着実に対応した。②今後示

認可保育園に入れない待機児童が増加している中、桃丘小学校跡保育園を認可園として再開することや、廃園となった住吉保育園の活用、廃止予定の国有地の活用など、区はあらゆる手立てを尽くすべきである。

①増え続ける待機児をゼロにするためには、中野区の責任で認可園を増設する以外にないかと考えるがどうか。②認可保育園と認証保育所の保育料の格差は正に、現在の認証保育所児童への補助額の上限2万円を増額すべきと考えるがどうか。

区長 ①今後も区立保育園の建て替え民営化による定員拡大を計画的に行うとともに、認証保育所の新

規開設支援、家庭福祉員事業の拡大、幼稚園の預かり保育の推進などを組み合わせた対策を進める。②補助限度額については、子ども手当など今後の国による新しい給付の動向を踏まえて、総合的に判断していく。

若者の就労に積極的支援を若者が就職や労働環境など気軽に相談できる窓口として、中野若者サポートステーション等を常設しては、

区長 若者の雇用・就業対策について、就業支援サイトによる求人情報の提供や、離職者等相談窓口でのワンストップサービスの提供などを行っている。

山手通りの環境を問う 中央環状新宿線の東中野にある2本の換気塔最上部が、黒くなっている。排ガスが原因ではないか。また、機能に問題はないのか。

区長 換気口辺縁部の一部が黒く汚れていることについて、首都高速道路(株)が原因を探るため調査方法を検討中と聞いている。

税や国保のほか、保育料や介護保険料など債権を一元管理し、専門チームで債権回収を進めてはどうか。

区長 ①中野区では従前から差し押さえを行っており、紹介の自治体も同様のやり方で成果を上げたも

のと受け止めている。今後さらに調査を進め差し押さえなどを行う。②臨戸徴収は滞納初期への働きかけである。滞納者には来庁や電話による相談を求め、納付や相談がなければ差し押さえを行う姿勢で臨んでいる。

伏期間が長いことなどから、母親が知らずに母乳を授乳することでの母子感染が非常に多い。患者団体などの働きかけで、首相は公費負担での全妊婦への抗体検査実施の意向を示した。区も母子手帳交付時の抗体検査の啓発チラシ配布、医療機関などへの周知・連携に早期に取り組みすべきでは。

区長 HTLV-1は検査とともに感染者への差別防止の啓発活動も重要で、手帳交付時のリーフレット配布も含め、早急に検討する。また都では来年度以降、現在、区立の2幼稚園で

区の債権一元管理で

徴収率を高めよ

民主クラブ 佐伯 利昭



①税や保険料などについて、常に差し押さえを念頭においていた滞納整理を進め、徴収率を上げている自治体がある。どう評価しているか。②9月に臨戸徴収を行

ったが臨戸訪問は効率が悪い。今後は来庁指示書や警告書を活用し、区役所での直接対面に切り替えてはどうか。③払えるのに払わない悪質な滞納者については、